

No. 180

平成31年4月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

☎(0241)23-3263 〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151
HPアドレス <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行/北塩原村議会 編集/議会広報調査特別委員会

目次

- 平成31年第2回定例会
- 第3回臨時会について …… 2～5
- 平成31年第1回臨時会 …… 6
- ズバリ！村政を質す …… 7～13
- 平成31年度北塩原村議会主な行事予定
…………… 14

議会だより

3月議会

裏磐梯小学校



祝 ご入学おめでとうございます

さくら小学校



平成31年度一般会計予算

反対多数で否決！

臨時会にて修正案の審議を行う！！

月会 3例 定あらし

平成31年第2回定例会
が3月8日から14日まで
7日間の会期で行われた。

1日目は村長から村政
の報告と議案の提案理由
の説明、また新年度各予
算の説明が行われた。

4日目には6人の議員
が一般質問にて村政を質
した。

5日目は、農業公社設
立に向けて状況の報告、
喜多地方定住自立圏共
生ビジョンの変更につい
て説明が行われた後、各
常任委員会に分かれ、次
年度予算を中心に審議を
行った。

7日目は、初日に説明
のあった議案について審
議・討論・採決が行われた。
議決は提出された20議
案（追加を含む）の採決
が行われ、原案可決が18
件、否決が1件、同意が
1件となった。

主な質疑

公益的法人への職員の
派遣等に関する条例

【問】五十嵐 善清議員

村社会福祉協議会やラビス
パ裏磐梯などへ職員を派遣す
るような考えはあるのか。

【答】（村長）

現在派遣する予定はありま
せん。

【問】小椋 元議員

NPO法人（日本で最も美
しい村連合事務局）への職員
派遣のための条例だと思いが
今回の議会でも課長2名が休
んでいて、さらに職員を派遣
して村の体制は大丈夫なのか。

【答】（副村長）

全職員で問題ない体制を整
えていきます。

また、派遣する職員に村外
での経験を積んでもらうこと
が新たな村の利益となるかと
思います。

【問】小椋 眞議員

課長クラスをNPOに派遣
する事に問題がある。議会に

2名も欠席して職員も不足し、
臨時職員を多く雇用している
状況でどうして派遣しなけれ
ばならないのか。

【答】（村長）

この条例は本村でまだ制定
されていないので整備したい
という考えです。派遣に関し
ては、様々な交流を通して職
員を育てたいという考えがあ
り、苦しい状況ではありませ
んが、今後の村のために派遣を
したいと考えております。

平成30年度一般会計 補正予算

【問】小椋 眞議員

除雪対策費・燃料について、
昨年より降雪が少ないはずな
のになぜ補正をしなければい
けないのか。

【答】（総務企画課長）

今年度は降雪が少なかった
ため車両修繕に燃料費がある
程度充てる事ができましたが、
修繕費がかさみ、2・3月の
燃料費が不足したため計上さ
せて頂きました。

【問】小椋 眞議員

修繕費で不足したのだから
修繕費で計上すれば良いので
はないか。

【答】（総務企画課長）

修繕費について先に支出し、
そのあとに支払い予定である
燃料費が不足しているため燃
料費で計上させていたくださ
ました。常任委員会では、充分
に説明を行えなかった事は誠
に申し訳ございませんでした。

【問】遠藤 祐一議員

除雪費の臨時職員賃金だが、
例年より日数を延ばし補修な
どの作業をさせるとの説明が
あったが、昨年まで村職員で対
応出来ていた事が、雪のない年
に契約を延長してまで行わな
ければならないのは職員の数
が足りていないからではない
のか。

【答】（総務企画課長）

昨年までは村職員で対応し
ておりましたが、十分な対応
が出来ていないため期日を延
長して臨時職員に対応しても
らう予定です。4月からは新
年度予算を使用し、村職員で
対応します。



▲村社会福祉協議会及びデイサービスセンター

平成30年度北塩原村特定 環境保全下水道事業特別 会計補正予算（第3号）

【問】 蟹巻 尚武 議員

委託料の補正で下水汚泥の運搬で430万円との説明だが、なぜこんなに高くなってしまったのか。

【答】（総務企画課長）

委託料の中で実施設計費が多くかかり、汚泥の運搬費用が不足したために補正を行う予算の組み替えの内容になりますが、今後は内容に沿った予算の計上に十分に注意して参ります。

平成31年度一般会計予算

【問】 五十嵐 善清 議員

デイサービスセンター委託料について、昨年より約438万円増額しているようであるが、積算の根拠を伺う。

【答】（住民課主幹）

デイサービスセンターの給食費について、センターの努力で村の負担を減らして来ましたが、利用者数の減少や配膳方法等をより配慮しなければいけないなど、施設の努力だけでは厳しい状況となりその分の増額となっております。

【問】 五十嵐 善清 議員

例年の減額の幅から考えると急激に増額して予算要求しているのはなぜか。

【答】（副村長）

社会福祉協議会全体の会計を見た場合に、厳しい状況にあり、需要も伸びてない状況であります。今後の事を考えて財政支援的な意味も込めて今回の金額となっております。

【問】 五十嵐 正典 議員

「若者や女性の思いを力手に」事業について、事業の説明を伺う。

【答】（教育課長）

村内の団体で若者や女性が半数以上いる団体で、「こんなことがやりたい」というものを応援する事業で、20万円を限度に1/2の額を補助しております。

【問】 五十嵐 正典 議員

文化財調査事業（柏木城発掘調査）について31年度で終わるとの説明だが、今後はどのようになっていくのか。

【答】（教育課長）

平成31年度で調査を一度終了し、国の指定に向けて準備を進めます。また、地権者の方への同意を頂く作業を既に進めております。順調に行けば、平成32年には申請できるかと思えます。その後指定が受けられる事になれば柏木城の活用計画の作成に2〜3年程度必要とし、更に発掘が必要となれば進めていく形になります。



【問】 遠藤 祐一 議員

バスの運行路線について、現在の状況では11月までしか運行しない事になっているが、1年間を通して運行できないのであれば負担金も減額すべきではないのか

【答】（総務企画課長）

裏磐梯一喜多方間の負担金1600万円は、赤字の補てんとして支払うもので、黒字になれば減額も考えられますが、たとえ赤字が増減しても金額は変わらない性格のもです。

【問】 遠藤 祐一 議員

12月以降運行しないのに同額を支払うのはおかしいのではないか。

また、予算編成時にそれを考慮して編成はされているのか。

【答】（総務企画課長）

編成の時点ではどうなるかわからないので当初予算としては同額を計上しております。

【問】 遠藤 祐一 議員

赤字補てんについては理解出来るが、なぜ一年通して運行しないものに同額補助しなければいけないのか。

事前に情報を知っているのだから予算編成時からしっかりと反映させなければいけないのではないか。

【答】（総務企画課長）

予算編成時では予算に反映することは出来ませんでした。11月の運行終了後も、付随して行われる作業もあるかと思われまます。そういったものも含めて赤字の補てんをしていくものだと考えております。

【問】五十嵐 力雄 議員

鳥獣被害対策費について、何頭捕獲する予定で計算したのか。

【答】（農林課長）

熊30頭、猿15頭、猪2頭を予定しております。

【問】五十嵐 力雄 議員

鳥獣被害については、広域的に連携して対応すべきであると提案したことがあるが、そういった部分も予算化しているのか。

【答】（農林課長）

連携については会津北部鳥獣対策協議会で検討をしておりますが、今回の予算案に連携に関しての費用は含まれておりません。

【問】五十嵐 力雄 議員

1つの自治体で対応しているのは非常に厳しい。広域的に連携を強め効果の上がる方策をしていかなければいけないと思うが考えを伺う。

【答】（農林課長）

事務レベルでは、他市町村との情報共有を行っています

が、なかなか効果的な対策を行えていない状況です。

【問】小椋 元 議員

ラビスパ裏磐梯について、主要事業の説明資料では管理委託事業で例年より高い2394万円を計上しているが、金額が変わったのか。また、今後どんどん老朽化していくなかで継続していけるのか。

【答】（総務企画課長）

資料の中の数字については、ポンプの交換・修繕と、大規模改修を検討するためのコンサルタント委託料で平成31年度の修理関係の費用となり、管理委託料については、5年間の契約により年2300万円となっております。

一般質問でも答弁しておりますが平成31年に調査を行います中・長期的な計画により判断します。

【問】小椋 眞 議員

人間ドックの補助金について、予算を超えた場合でも補助できるように配慮するべきである。それほど人数は多くないと思われるが考えを伺う。

【答】（副村長）

倍の人数等になってしまうと難しいですが多少の人数であれば事務局の裁量で対応させていただきます。

【問】小椋 眞 議員

除雪の関係であるが、村道大塩―桧原線や村道剣ヶ峯―狐鷹森線を除雪している業者について住民から不満の声が上がっているようだがその2社を変える事ができるか。

【答】（村長）

除雪業者については公募しておこなっております。今聞きました内容については真摯に受け止めて参りたいと思います。

【問】小椋 眞 議員

バス路線については、桧原湖周遊バスなども含めて、東都バスももっと交渉しなければならぬのではないかと。

【答】（村長）

東都バスでは黒字の路線は無い状況のようで、裏磐梯―喜多方駅間の廃止の打診があったところです。村では2月に訪問してきましたが、撤

回は難しいということでした。

【問】蟹巻 尚武 議員

商工費の合宿利用費補助金について、今後、オリンピック需要なども見込まれバスの確保が難しくなる中で、昨年の380万円から300万円へ減額しているのは合宿利用を推進している村の政策と逆行しているのではないかと。

【答】（商工観光課長）

過去の実績を見たときに300万円で収まっておりました。また、教育旅行が回復していないため、教育旅行誘致を重点的に進めたいと考えております。

【問】蟹巻 尚武 議員

小規模の団体を対象としている宿泊施設にとつて非常にマイナスである。観光業を守るためにも、もっと手厚く予算をつけるべきではないのか。

【答】（村長）

満額計上したい気持ちはありますが、当初予算としては必ずかかる費用を計上し、足りない部分については補正にて対応を考えています。市川市との協定を機に教育旅行誘

致のPRを行ってきたところでもありますのでご理解いただきたいと思います。

人 事**教育委員会****教育委員の任命について**

齋藤 弘幸氏（北山）
全会一致で同意



定例会7日目に追加議案として教育委員会委員の任命に現職である齋藤氏について提案があり、全会一致で同意しました。
齋藤氏は平成23年4月に就任し、教育委員長（旧制度）や教育長職務代理者を歴任されております。任期は、平成31年4月から4年間となります。

討 論

小 椋 眞 議員

経済厚生委員会では、課長2名が欠席で代理が出席したが、事業の内容が充分に把握できず説明が進まなく、建設関係の一般会計及び特別会計について全く説明を受けることが出来なかった。また、除雪についても現在の業者には住民から批判も出ており、業者を変えられないか質問をしたが、それに対して回答が無いため、この予算には賛成できない。

小 椋 元 議員

除雪について、村道大塩―松原線は県道も整備されていること、またこの区間の除雪は費用もかなりかかっており、無駄である。また、ラビスパについて、今回修繕費も計上しているが、黒字にもならず、村民の利用が少ない。また、村外の利用者からも入湯税を取らないなど全く無駄な事業であるためこの予算案には反対する。

採 決

賛成 2 反対 6

否 決

討論は反対討論が2名、賛成討論は無しで採決となった。
採決は賛成2：反対6で反対多数により否決となった。
否決となった平成31年度一般会計予算は、修正した後、臨時会で再度審議される事となった。

議案第13号

平成31年度北塩原村一般会計 議員可否一覧表 ※議長は議決には加わりません。

議員番号	2	3	4	5	6	7	8	9
氏 名	若林 幸子 議 員	五十嵐 善清 議 員	五十嵐 正典 議 員	遠藤 祐一 議 員	五十嵐 力雄 議 員	小椋 元 議 員	小椋 眞 議 員	蟹巻 尚武 副議長
可 否	×	○	×	×	○	×	×	×

平成31年第3回臨時会

概 要

平成31年3月20日開催され、修正された平成31年度一般会計予算について審議を行った。

修正された内容

- 村道大塩―松原線の冬期間の常時除雪の廃止
- 村道剣ヶ峯―狐鷹森線の除雪体制の見直し

主な質疑

【問】小椋 眞 議員

議員がずつと声を上げていたにも関わらず一向に改善もせず、結果として一般会計予算が否決される事になり、議長として責任をとるべきである。

【答】(村 長)

議会運営に混乱をもたらした事は大変申し訳ございませんでした。



▲松原地区の除雪の様子

可 決

全会一致で賛成

平成31年第1回臨時会

学校教育施設等空調設備整備事業について

【概要】

昨年の夏は全国各地で猛暑が続き、教育現場でも多大な被害があった事受け、本村でも全ての幼稚園、小学校、中学校への冷房設備導入を進める事となった。

平成30年度までの状況

○さくら幼稚園

事務室、各保育室及び遊戯室に設置済

○裏磐梯幼稚園

事務室及び遊戯室に設置済

○各小学校及び中学校

保健室のみ設置済



主な質疑

問 遠藤 祐一議員

1教室100万円〜110万円と説明があったが、単純計算すると2000万円程度にしかない。差額は工事費になるのか。

答 (教育課長)

電気の容量を増やすための工事や配線などの費用になります。平均しますと1校あたり1500万円〜1600万円の費用がかかります。

問 蟹巻 尚武議員

空調設備が設置された後に管理が必要になると思うがその費用は計上されているのか。

答 (教育課長)

設置後には管理費用が必要になるかと思えますので今後管理料が増える形になると思います。

問 五十嵐 力雄議員

村の起債が1億800万円になるということであるが、補助金など他に使えるものは無いのか伺う。

答 (教育課長)

冷房設備の補助金は国の第一次補正予算に計上されているものだけとなります。現在のところは他にありません。



▲猛暑でも室内で安全ひに過ごせる (さくら児童クラブ)

ラビスパ裏磐梯温泉ポンプ修繕について

【概要】

ラビスパ裏磐梯の温泉を汲み上げるポンプが昨年末に故障したため効率的にポンプを稼働するための費用を計上したものの。

主な質疑

問 小椋 眞議員

通常こういった施設では予備のポンプが必要であるが、予備はあるのか？

答 (総務企画課長)

予算にはポンプの購入費は計上しておりません。今回の調査を元に新年度に新しいポンプの購入費を計上しております。

問 小椋 元議員

現在は温泉のお湯は使っていないのか。

答 (総務企画課長)

施設内のピットに貯められたお湯を使用しており、現在は汲み上げは行っていません。

問 蟹巻 尚武議員

定期的に整備・点検を行っていればこのような状況にはならなかったのではないかと。

答 (総務企画課長)

今回故障の疑いのあるポンプは平成19年3月に購入し、平成23年3月に交換、平成27年の7月に入れ替えをおこなった、5年を目途に交換整備を行っていましたが、今回2年8ヶ月で故障の疑いのある状況となりました。

問 小椋 元議員

修繕しても施設がうまく運営できる保証も無いし、費用がかかっていくばかりであると思われるのでこの事業をやるべきである。

答 (総務企画課長)

今後、ポンプの修繕と共に汲み上げ方式について、常時汲み上げる方法と、湯量にあわせてポンプを作動させる方法を検討していきます。きちんと汲み上がるようになれば温泉を利用できる状況になるかと思えます。



- | | | | |
|---|-------------------------|-------|----|
| 1 | 遠藤 祐一 議員 | | 8 |
| | ○人口減少対策について | | |
| | ○今後の財政について | | |
| 2 | 小椋 眞 議員 | | 9 |
| | ○バス路線について | | |
| | ○北塩原村アスリート強化支援について | | |
| | ○村道管理について | | |
| 3 | 小椋 元 議員 | | 10 |
| | ○遊歩道、登山道の現状と今後の対策について | | |
| | ○空家対策について | | |
| | ○裏磐梯に点在する沼に名前をつける事業について | | |
| | ○大塩—桧原間の村道除雪について | | |
| 4 | 蟹巻 尚武 議員 | | 11 |
| | ○各地域振興の施策について | | |
| 5 | 五十嵐善清 議員 | | 12 |
| | ○ラビスパ裏磐梯について | | |
| | ○公営住宅及び職員住宅について | | |
| | ○農業公社の設立について | | |
| 6 | 若林 幸子 議員 | | 13 |
| | ○防災教育について | | |
| | ○第四次生涯学習推進計画について | | |
| | ○エミューの飼育計画について | | |

議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は 6月7日 開会予定です。

議会は皆さんの生活に寄り添い、皆さんの声を村へ反映する議決機関です。
村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL：(23) 3263 FAX：(25) 7358

HP アドレス：http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/

ズバリ!!

村政を質す

6人の議員が一般質問

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることをいいます。

Q. 村民が継続して村営住宅に住めるようにすべきである

A. 補助金の利用条件を超えて入居条件を緩和することはできない



遠藤 祐一

人口減少対策について

問 当村では人口増進政策を進めているが、村営住宅の所得条件から外れてくる人が多くなってきたり、村民がどんどん転出してしまっているのか。入居条件の緩和は出来ないのか。

答（総務企画課長）

国交省の補助を受けて建設しますと、公営住宅法の制限があります。村で公営住宅を建設し、政策的な家賃を設定することも検討しております。

問 子どもが所得を得るようになれば皆条件から外れてしまう。村営住宅の一部はすでに住む人がまばらになってきている。本村に残ってもらえるよう施策を行うべきである。

答（村長）

若い人に来てもらいたいと思うので今の住宅を整備しましたが、入居者も成長して参りましたので状況にあった住宅の整備を進めて参ります。

問 北山地区の住宅整備状況について伺う。

答（総務企画課長）

北山地区・寺ノ前に計画する住宅につきましては、平成28年度に基本計画を策定、平成29年度用地取得を実施しました。平成30年度につきましては、財政負担軽減のため、民間資金を活用してのリース方式の活用を検討しております。

住宅用地整備事業につきましては、平成27年度に候補地の選定を行い、平成28・29年度に用地買収、許認可等の手続きを進めて参りました。平成30年度につきましては、許認可手続きに時間を要しているため、引き続き進めている状況です。

問 寺ノ前の住宅整備について、公営住宅も空いている、リース方式も検討している、この事業を進める気はあるのか。

答（村長）

当初は若者の定住を目指しておりましたが、リース方式を含めて早い時期に検討をしていきたいと考えております。

財源確保のための施策を問う

問 特別会計への繰出金の増加について伺う。

答（総務企画課長）

一般会計からの繰出金は、平成31年度当初予算は、全体で3億9844万1千円で、前年度比2916万円増加となっております。主な要因は介護保険事業特別会計の施設介護給付費の増加や簡易水道事業費特別会計について、基準外の繰出金などであります。基準外の繰出金の圧縮をすることが対応策の1つと考えております。

問 水道料金の見直しについて委員会を立ち上げると以前聞いたが早々に進めていかないとどんどん財政を圧迫していくのではないか。

答（副村長）

当村が単独で存続していくことになってから人件費等を切り詰め財源を確保してきたが、それにも限界があると思います。検討委員会については10月に消費税増税もあるのでそれも踏まえて有識者も交え

ながら検討できる体制を早急に進めたいと考えていると思います。

問 繰越事業の基準について伺う。

答（総務企画課長）

一定条件のなかで翌年度に繰越できる会計年度独立の例外として認められている制度であります。

繰越の事由としましては、計画や設計に関する諸条件、気象や用地、補償処理などがあります。

意見 繰越明許費について、役場内での指揮系統、チェック体制をしっかりとし、事業を進めてもらいたい。



小
椋
眞

Q. バス路線の維持に交渉すべきである

A. 村でバスを購入し、運転を委託していくなどの方法で検討していく

バス路線の廃止について

問 公共交通は村民の大切な移動手段であるが、昨年、桧原―裏磐梯線が廃止となり、11月には裏磐梯―喜多方駅間の路線も廃止となると聞いたが、どのような施策を考えているのか伺う。

答（村長）

昨年の12月21日に磐梯東都バスより路線廃止の申し出がありました。理由としては路線の赤字拡大やバスの更新、運転手の確保などと思われ、当村としても継続を希望しましたが、厳しい状況であるため公共交通検討委員会代替の手段を検討していくこととしました。

案としては、一つは代わりの業者を探す案と、もう一つは村でバスを購入し、運行してもらえる業者を探す案があります。

今後は公共交通会議で検討していきたいと考えております。

問 12月21日以外でもバス路線の事で東都バスの社長は訪問しているはずである。それを1回のみと言っているのは間違いではないか。

答（村長）

これ以外にも行き来するところもありましたが今回のバス路線廃止の件については12月21日ということです。

問 東都バスでは磐梯山を周遊するバスを関係する市町村へ提案し、取りまとめを北塩原村に依頼したとしているが、全く進展がなかったとのことである。それが今回このようになった原因ではないか。

11月まで路線を廃止しないのはまだ交渉の余地があるのではないかと。それなのに村で路線廃止の方向に進めてしまっているのはおかしいのではないかと。

答（村長）

4市町村と協議を進めておりましたが、それぞれに問題があり今すぐ解決できないという話もありました。

路線継続については各所に足を運びお願いをして来ましたが難しいという事でした。

意見 議会が終わったから早急に何度でも足を運んで東都バスと折衝をおこない今までもおり運行できるように進めるべきである。

北塩原村アスリート強化支援について

問 当村でも、世界に通用するような選手が出てきており、村民に勇気を与えるような選手を輩出するために村でも施策を考えるべきであるが村としての考えを伺う。

答（教育長）

本村は、様々な活動を支援するために各運動施設の開放や中体連への助成をおこない、支援しております。また、高校から社会人に対しても激励金制度をもって支援しております。本村の制度は他の市町村よりも厚い支援内容となっております。対象の広さや支給範囲の広さ、回数制限のない事、開催地の距離に応じた支援となっており、選手の未来の一助となればと考えております。

問 出来るだけの事はやって頂いて伸ばしてもらいたいと考える。選手が新聞に載れば本村も注目される。村として支援の考えはあるのか。

答（教育長）

関係各所に協力を依頼するなどして支援して行きたいと考えております。

村道の除雪管理体制について

意見 以前指摘した業者は乗車定員で問題がある可能性があり、その業者を使うべきではない。

また、委託料についても業者によりかなり金額が違うのがおかしい。他にもレイクウッドへの道路についてかなり危険な道であり事故があれば村の責任である。迂回路の設定など、安全に通行できるようにするべきである。



アスリートへの支援策が望まれる

Q. いつまでも修理の終わらない探勝路 廃止すべきである

A. 順次修理を進め、コースの維持に努める



小 原 元

遊歩道、登山道の現状と今後の対策について

問 現在通行可能な遊歩道は何コースで何キロあるのか。

答 (商工観光課長)

通行できる探勝路は16コースで総延長約70キロです。通行止めは早稲沢デコ平自然ふれあい探勝路(早稲沢口)布滝)早稲沢浜探勝路及び、県が整備した裏磐梯野鳥の森探勝路で、総延長約6キロです。

問 探勝路の修繕等はなかなか進まず、こういう状況ではもう直さないほうがいいのではないか。

答 (商工観光課長)

早稲沢デコ平探勝路の工事につきましても関係各所への確認に時間がかかってしまい、実施することが出来ませんでした。平成31年度予算が可決されましたらすぐに進めたいと考えております。

早稲沢浜探勝路については様々な方法を検討しておりますが進んでいない状況です。次年度には地域の方の声を聞きながら再度検討したいと考えております。

問 本村で大々的に宣伝をしているものをこんなに放置しているのはいいの。苦情も来ないところならば廃止も考えるべきではないか。

答 (商工観光課長)

村では19コース総延長80キロということで宣伝しておりますが、早期に改修できなかったことはお詫び申し上げます。整備した探勝路を楽しんでもらうために今後も整備していきたいと考えております。

空家対策について

問 現在の空家の件数を伺う。

答 (総務企画課長)

平成29年度末の調査の結果159軒になります。今後の対策は空家バンク制度利用の継続、改修・解体の助成制度の継続です。

問 解体について50万円を上限となっているが活用されているのか。

答 (総務企画課長)

3年間で12件の利用があります。制度についての苦情等はありません。

裏磐梯に点在する沼に名前をつける事業について

問 この事業について何故休止になったのか。どこまで進んでいたのか。

答 (総務企画課長)

平成25年度から平成27年度までの調査で大小257の湖沼がありました。この調査の結果としては、パンフレット等に記載されている湖沼の数の確認が取れたところだと考えます。

問 この調査はどのように行ったのか。また事業費はどれくらいかかったのか。

答 (総務企画課長)

国土地理院の地図を元に現地調査を行いました。また、調査結果を元に航空図の作成を行いました。事業費は2年間の合計で220万円となっております。

大塩―松原間の村道の除雪について

問 新年度には県道の道路拡幅工事が終わる予定であり村道の除雪は必要ないと思うが考えを伺う。

答 (建設班長)

県道の工事について確認したところ、31年秋ごろ改良工事が完了予定との事で、平成31年度以降の工事については県の予算編成がまだ確定していないため明確な回答は頂けません。除雪については松原3地区の区長会から避難道路確保の強い要望も来ておりました。今後につきましては地域の方と協議していきたいと考えます。

問 県道の工事が終わるといいう話であるのに除雪を継続しなければならぬ理由は何か。

答 (村長)

道路が通行出来なくなれば過疎が進んでしまうとも考えております。冬季はワカサギ釣りのお客様もおります。広域の回線も通っております。県道の安全が確認できましたら改めて検討したいと考えております。



蟹巻
尚武

Q. ラムサール条約へ登録をすべきである

A. 地域の機運が高まれば条約の登録も検討する

各地域振興の
施策について

問 8年前に起こった東日本大震災と東京電力の原発事故による風評被害が未だに根強く裏磐梯観光に残る中、そのイメージアップ策として、日本ジオパーク加盟や日本で最も美しい村連合加盟を行って来たが、経緯と波及効果について伺う。

答（商工観光課長）

村では様々な誘客事業、情報発信、イメージアップなどの事業を実施しております。磐梯山ジオパークは、周辺の3町村・県・関連団体が集まって貴重な地質遺産と稀有な自然環境、文化・伝統を保全、教育や研究に活用し、地域づくりに活用することを趣旨とし、普及啓発事業、ガイド等の人材育成事業、案内看板設置等の受入環境整備事業を実施し進めて参りました。波及効果としては、平成27年の再認定申請時には、審査委員から学校等への出前事業や人材育成、防災教育等が高く評価されました。

日本で最も美しい村連合の加盟については、連合の趣旨

に賛同し、平成21年より周知広報活動、美化活動を展開して、平成22年9月に連合に加盟しました。

波及効果として、平成27年の再審査の際、観光と農業の連携するための努力が認められ、ツーリズムを支える宿泊施設の充実、ツーリズムガイド・女性グループの活動が地域貢献していることが高く評価されました。このように効果もあり今後も継続していくことが大切と考えております。

問 新たな施策としてラムサール条約への登録も必要と考えるが当村の考えを伺う。

答（商工観光課長）

条約の趣旨については非常に重要だと考えております。また、この活動を推進している団体の継続した活動が地域づくり等、観光振興の模範になることを期待しています。条約への登録に向けた取組については、このような地域の宝を保全し、利活用していくこと、また、持続可能な体制整備をとることなどを、住民が主体となり合意形成がなされ、官民が一体となった推進体制の構築が必要であると考えております。

問 日本では52の地点が指定されているが福島県単独ではまだ一つもない。調べたところでは、過去に環境省から猪苗代湖と裏磐梯の湖沼群の登録を薦める話があったようだが村では把握しているのか。

答（商工観光課長）

登録の潜在候補地について、県、環境省から働きかけがあったことは聞いております。

問 それについて村ではどのような行動を起こしたのか。

答（商工観光課長）

村といたしましては条約について更なる理解が必要であるとの考えで勉強中であります。

問 北塩原村は県や環境省からこのような通知があっても行動を起こさないのか。

答（商工観光課長）

エコツーリズム協会からは、条約の登録に関して手続きなどの相談を数年前から受けております。それを受けまして各所に確認をとったところ、環境面ではクリアできると考えますが、地域の皆様で協議会を設置するなどの活動が必

要であるとの事でエコツーリズム協会にはお話をしております。

問 環境省にも行き話を聞いて来たが、本村の自然環境は素晴らしいので是非登録して欲しいとの話であった。今後、ラムサール条約に登録する意思はあるのか。

答（村長）

地域の声を良く聞いて、関係する団体の皆様と一緒に、村内で機運が高まりましたら進めて行きたいと考えております。



Q. ラビスパの運営方法について変更も検討すべきである

A. 平成31年度の調査結果をみて検討をする



五十嵐 善清

ラビスパ裏磐梯について

問 オープンから約23年が経過し、設備や建物等の修繕を続けてきたわけだが、今後想定される主な修繕はどのようなものか。また、温泉を利用しない健康増進施設などへの転用は考えていないのか。

答（総務企画課長）

平成27年の調査ではプールゾーンの鉄骨の錆びや腐食は早急に対策が必要とであるとのことでした。また、空調設備や給排水設備、特殊設備の更新も計画的な更新が必要であると考えます。

温泉を廃止して健康増進施設としての利用については、修繕の費用はかかっておりますが温泉が施設の大きな魅力でもありますので平成31年度の調査を踏まえて今後検討してまいります。

問 調査の結果を待つだけでなく、村としても案を持っておこななければいけないのではないかと。調査結果を根拠にするのなら結果が出て例えばもうやめるべきとなった場合、すぐにやめるのか。

答（総務企画課長）

ラビスパ裏磐梯およびこの森の基本構想を平成7年から8年に策定しましたが、その後の利用者のニーズ等の変化も含めて平成31年度調査で検討していきたいと思えます。

意見

ラビスパに訪問した際にはフィットネスルームで体操が行われていた。そのようなものをもっと増やすなどいろいろ取り入れてもつと良い形を見つけていくべきだと考える。

公営住宅及び

職員住宅について

問 村道松陽台一寺ノ前線沿いに計画されている公営住宅及び職員住宅事業の進捗状況について伺う。

答（村長）

若者定住を目的として住宅の整備を計画し、費用の削減等を検討して来ましたが、造成や建築など工費が大きい、民間資金を活用してのリース方式による財政負担の軽減や政策的な家賃の設定、公営住宅の需要調査、一定期間の住宅費支援など課題が多

くありますので引き続き調査を進め検討していきます。

問

既存の村営住宅に空きが出ている状況なので一度ストップして再度検討する必要があるのではないかと。土地の購入を希望する人もいるので販売も考えてよいのではないかと。

答（総務企画課長）

事業計画の変更もご指摘を踏まえ、柔軟に検討してまいります。

農業公社設立について

問 農業公社設立に向けた進捗状況を伺う。

答（農林課長）

村では農業公社検討委員会を立ち上げ検討を進めてきました。3月の検討委員会では今まで協議・検討してきました内容をまとめ、村へ報告させていただきます。

問 農業公社は耕作放棄地の解消や農地維持が主な目的であるが年間を通してどのような事業を考えているのか伺う。

また、農業公社でエミューを飼育する計画はあるか伺う。

答（農林課長）

検討委員会で行った業務は、農業経営、作業受託加工販売営利部門など、また公益性の面では、新規就農者の育成、体験事業、耕作放棄地の再生や、直接支払制度などが考えられます。また、通年の収益を得るために従業員の通年雇用、農畜産物の販売、精米による直接販売、除雪業務の受託などが上げられ、エミューによる実証実験飼育もありました。

問 エミューについて、村では観光利用等どのような方向性で考えているのかを伺う。

答（農林課長）

エミューについては、卵や肉またエミューオイルなど様々な利用方法がありますが、村の活性化のために今後検討していきたいと考えております。



若林 幸子



Q. 震災を忘れないように防災教育を積極的に行うべき

A. 震災だけではなく磐梯山噴火も想定し郷土理解の学習から進める

防災教育について

問 震災の記録、記憶を後世に遺すことが大切で、忘れないためにも防災教育を充実させていくべきと考えるが、村の考えを伺う。

答（教育課長）

防災教育は教育委員会でも非常に重要だと考えております。各学校でも教育課程に取り込み、避難訓練や防災教室に取り組んでいます。これからも児童生徒が地域の自然環境や災害・防災の正しい知識を身につけて自らの安全を確保出来る能力の育成に取り組んでまいります。

問 最近学校教育の場では濱口梧陵（はまぐちごりよう）が再度注目を浴びているようですが、本村でもそういった教育を行っているか。

答（教育長）

濱口梧陵の『稲むらの火』については教科書に載っておりますので必ず就学の段階で触れる機会があります。

問 避難訓練のほかに村ではどのように防災について伝えているのか。

答（教育長）

本村では磐梯山噴火が想定されますが、明治21年の噴火は防災の範疇ではなく郷土理解として学び、過去の歴史教育の中で災害について学んで行くよう各幼小中で進めていると認識しています。

濱口 梧陵（ハマグチゴリヨウ）
『稲むらの火』

あらすじ

安政元年、紀伊国広村（現在の和歌山県有田郡広川町）は安政南海大地震で発生した津波に襲われる。濱口儀兵衛（梧陵）は村人を避難させるために丘にある自分の稲むら（積んである稲の束）に火をつけ、村人を誘導し、多くの命を救った。この災害を教訓に濱口儀兵衛は私財を投じ防波堤の建設など防災の為に尽力した。

物語「稲むらの火」は、小泉八雲が史実を元に英語で著作し国内外に広く知られるようになりました。そして、地震後の津波への警戒と早期避難の重要性、人命救助のための犠牲的精神などを教える教材として使われています。

第四次北塩原村生涯学習推進計画について

問 第四次北塩原村生涯学習推進計画は大変素晴らしい物が出来たと思う。特に子どもの回答には普段気づかないことがあり勉強させられた。しかし、村の将来について悲観的な回答も見ることが出来るがこのような内容に村はどう考えるか伺う。

答（教育長）

学校経営研究協議会の中에서도話題になった内容です。よく考えてみますと大人のほうが否定的にこの村を見ている可能性もあるので学校の中では村の良さを伝える事に尽きると考えています。必ず解決するわけではありませんが、郷土理解教育を進めて行きたいと考えています。

問 アンケート結果を踏まえて今後村としてどのような施策を考えているか伺う。

答（教育長）

計画の策定には村民の方々や各団体へアンケートを実施しました。そのなかで、公民館事業の情報提供や各団体の活動のPRを行ってほしいとの意見が寄せられました。また、気軽に参加できる講座・行事を検討して欲しいとありました。基本目標に沿って各種施策に取り組んでまいりたいと思います。

エミューの飼育計画について

問 今後、村としてどのようにエミューを育てて活用していくようにしているのか伺う。

答（農林課長）

現在は試験飼育を行い、活用法を検討しているところです。2月末には孵化試験を行っており4羽が生まれました。本格的な飼育には多くの課題がありますが、村の活性化のためにも定着させていきたいと考えております。

問 先進地の視察等を実施し、情報などを得ているのか。

答（農林課長）

福岡へ先進地の視察に行つて参りました。福岡では400羽を飼育し毎年100羽を加工することで事業が成り立っているという事でした。本村で進めるためにも更に検討が必要と考えます。

問 チョウザメの飼育のようにならないように例えば公社に委託して安定した環境を早く作るべきではないか。

答（農林課長）

農業公社のなかでエミューの飼育も検討していきたいと考えております。

平成31年度北塩原村議会主な行事予定

月	日程等	月	日程等
4月	会津耶麻町村議会議長会定例会 議会広報調査特別委員会	10月	全国町村議会広報研修会 会津耶麻町村議会議員研修会 県町村議会議員研修会 議会広報調査特別委員会
5月	県町村議会広報研修会 全国町村議会議長・副議長研修会	11月	町村議会議長全国大会
6月	議会定例会 町村議会議長会定期総会	12月	議会定例会
7月	会津総合開発協議会要望活動 全国町村議会事務局職員研修会 議会広報調査特別委員会	1月	議会広報調査特別委員会
8月	町村議会正副議長・局長研修会 会津耶麻町村議会議長会定例会議	2月	全員協議会 県町村議会議長会定期総会
9月	議会定例会 会津耶麻町村議会議長会視察調査	3月	議会定例会



さくら小学校 新入学生 9名

表紙 入学式の風景



裏磐梯小学校 新入学生 2名

4月8日、村内の各小中学校で入学式が行われました。大きな声で返事をし元気な姿を見せてくれました。

自治功労者表彰

五十嵐 力雄 議員

(議員在籍15年以上)

全国町村議会議長会より、長きにわたり地方自治に尽力した五十嵐力雄議員へ表彰状が贈られました。伝達は平成31年3月定例会開始の前に、本会議場で行われ、功績を讃え賞状と記念品が贈呈されました。



編集委員

- 委員長 若林 幸子
- 副委員長 蟹巻 尚武
- 委員 五十嵐 力雄
- 委員 五十嵐 正典
- 委員 大竹 良幸

『編集後記』

春の気配が感じられる季節となりました。4年前の議員改選後5名の編集委員で、議会の情報を伝えるために編集を続けて参りました。皆様のお陰で議会だよりをお届けすることができましたこと深くお礼申し上げます。今後とも「議会だより」をご愛読いただきますようしくお願ひ申し上げます。

委員一同